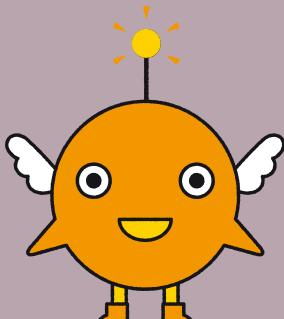


NIKAKAI DESIGNERS GENERAL INCORPORATED ASSOCIATION



No.74

NIKA DESIGN REPORT

一般社団法人 二科会デザイン部 本部事務局
二科 report 編集部

2025年11月 発行

第109回二科展・デザイン部授賞式

日時：令和7年9月6日(土)・12時-14時

会場：国立新美術館講堂

二科展デザイン部授賞式を9月6日(土)12時より挙行しました。



農林水産省 大臣官房新事業・食品産業部 外食・食文化課	食文化室長 牧之瀬 泰志 様
学校法人 佐賀コンピュータ専門学校	理事長・校長 堤 保裕 様
学校法人 穴吹学園専門学校穴吹デザインカレッジ	校長 森川 和哉 様
福島国際アート&デザイン大学校	山田 直美 様
公益社団法人 二科会	理事長 生方 純一 様
公益社団法人 二科会 彫刻部	事務局長 吉野 穀 様
公益社団法人 二科会	事務局長 堀 珠世 様
一般社団法人二科会 写真部	理事長 角尾 抽臣子 様
一般社団法人二科会 写真部	事務局長 横島 昇 様

上記の来賓の方がたに出席頂きました。



ごあいさつ

「落紙雲煙」

二科会デザイン部 理事長

河地 知木

第109回二科展デザイン部にご応募くださいました皆様、有り難うございます。

準入選、入選、入賞された皆様方、日頃の研鑽の成果です、お目出度うございます。

われわれ二科会デザイン部は四分野で構成される総合美術展、二科展の一部門です。

二科会の正式名称は、絵画部・彫刻部は公益社団法人二科会、一般社団法人二科会 写真部、一般社団法人二科会 デザイン部と称します。

それぞれ独立法人とし、公益社団法人二科会の旗のもと活動をしています。

デザイン部は、第36回二科展にて(1951年)東郷青児先生の発案、賛同者の皆様方により、社会性と芸術性の融和、美の領域の拡大を掲げ商業美術部門として設立・参画し現在に至っています。(1982年にデザイン部に改称)二科会の趣旨に賛同し「多様化する現代を認識し、自由な発想と、創造性、豊かな感性を求め、ビジュアルに表現する」ことを指標としています。全出品者の制作の自由を擁護し、個性を尊重し、流派の如何は言うまでもなく新しい独自の価値の創造者に対し、抜擢され待遇されることを約束します。二科会の美に対するこれらの目標は不变の鉄則・志向であり、我々の理念です。

さて2025年もA,B,C,Dの4部門にそれぞれ多くの力作が寄せられました。

東京では国立新美術館において、第109回二科展が9月3日から15日まで開催され滞りなく終了致しました。

ここ数年は一般公募作品の中から大賞作品を「デザイン部作品集」の表紙に用いるようにしてきました。109回展ではA部門大賞の山崎誠さんの作品を採用させていただきました。イラストレーションのグラデーション表現の効果、疎密のバランス、いきいきとした紙面構成に優れた力量を感じる秀作でした。

またこれまでB課題テーマ部門には国土交通省、厚生省、外務省、博覧会協会等各省庁よりタイムリーな諸問題をテーマとしていただいて参りました。今年はご承知のように農林水産省より「日本の郷土料理～次世代に伝えたい大切な味～」をテーマとして戴きました。日本の各地に伝わる素朴な郷土料理の大切さを後世に残し啓蒙することを訴えるポスターです。かつてC部門への出品で培ったイラストレーションを用いポスター・デザインに活かした秀作が多くみられました。

さて2026年二科展は110回展開催となります。節目の年に向け鋭意準備中です。創作未発表、自由な発想と、創造性豊かな力作をお寄せくださいるようご出品を、お待ちしています。

サア取りかかりましょう! 110回展は、もう始まっています。ご紹介と、お願いをもってご挨拶をいたします。



郷土の味に息づく文化の力

農林水産省
大臣官房
新事業・食品産業部 外食・食文化課
食文化室長

牧之瀬 泰志

このたびは、第 109 回二科展デザイン部の開催、誠におめでとうございます。長きにわたり芸術文化の発展に尽力されてきた関係者の皆様に、心より敬意を表します。また、各部門で入選・準入選を果たされた皆様のご努力と創意に、深く敬意を表します。

今回の題材として「郷土料理」をお選びいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。郷土料理は、地域ごとの自然の恵みを活かし、四季の移ろいとともに育まれてきた暮らしの知恵の結晶です。囲炉裏の火を囲む家族の笑顔、祭りの日に人々が分かち合う一皿——その一つひとつが、今も私たちの心に郷愁と安らぎを呼び覚まします。

今回の作品群には、そうした温もりや力強さが色彩や構図を通して見事に表現されており、ポスターの前に立つと、まるで料理の香りや味わいが立ちのぼるかのような臨場感を覚えました。地域の風景や人々の営みを食文化の表現に重ね合わせた点に、卓越した感性と洞察を感じます。

とりわけ、郷土料理とポスターとの親和性の高さにも改めて気づかされました。色とりどりの食材や器が画面に映え、「食べてみたい」「その土地を訪れてみたい」と見る人の心を動かします。公共空間で掲示されることで、郷土料理がもつ文化的価値や地域の誇りが、広く社会に共有されていくことでしょう。

農林水産大臣賞を受賞された二越様の作品は、日本家屋の室内にやかんや農産物、料理する人の姿が温かく描かれ、素朴な暮らしの中に息づく食の風景を生き生きと伝えています。奥野様の作品は、富士山や鳥居、桜、提灯などを巧みに配し、光と影の効果によって料理の存在感を際立たせ、郷土の誇りを象徴的に表現しています。いずれの作品も、郷土料理がもつ文化的価値と、人の心を動かす力を見事に示しています。

「日本の郷土料理一次世代に伝えたい味」という今回のテーマは、ユネスコ無形文化遺産「和食」の理念にも通じるものであり、地域の自然や歴史に根ざした食文化を未来へと受け継ぐうえで、きわめて意義深いものです。

本展を通じて、多くの方がたが改めて郷土の味と心の豊かさに触れ、次代へと文化の灯をつないでいかれることを心より願っております。

第109回二科展B部門特別課題総評

一般社団法人二科会デザイン部 事業局（渉外・広報） 渡辺 亘章

第109回二科展デザイン部特別課題は「日本の郷土料理」をテーマとしたポスターデザインを募集しました。後援は農林水産省です。

2000年に、ユネスコの文化遺産に指定された和食。外国の方からも和食や日本の郷土料理への興味が深まっています。

全国にある郷土料理には、その土地土地で得られる食材を活用し、長い年月をかけて推敲に推敲を重ねて作り上りあげた先人の知恵が反映されています。

今回の受賞された作品や、入選された作品を拝見すると、色々な切り口で作品を構築しているのが見られました。

自分が小さい時から、おばあちゃんに作ってもらって食べていた料理を題材にしたもの。全国の郷土料理を網羅し、ポスター内にレイアウトして表現したもの。

郷土の自慢の料理の1点に焦点を当てて表現したポスター等。

国立新美術館に展示された多様な表現のポスターを鑑賞することができ、興味深く拝見することができました。

今回の特別課題の作品展は、今までの特別課題の時とは違った大きな変化がありました。

ポスターのデザイン性、技巧性、レイアウト感覚等を鑑賞したあとに、自分が知っている郷土料理についての話題に話が弾むのです。福岡のうどんをテーマにしたポスターの前で、そのうどんの事を知っている人達が「このうどんはよく食べていたよ。茶色の棒状のものは、牛蒡の天ぷらでおいしかったなあ。九州の人は、うどんとは言わず、うろん、というのだよ」と、話が弾むのです。

『はらこ飯』が表現された作品の前で、私は子供の頃、この『はらこ飯』をよく食べていましたと思い出を話す人。

ポスターを鑑賞した後に、観客の人が自分の経験や、懐かしさに浸るのです。

こんなポスター展は初めてのことでした。

受付で、今年の入場者を眺めていると、外国の方の入場者が物凄く多かったです。

此処は日本の美術館なのか。と、思うほどでした。

今回の「日本の郷土料理」のポスターには、英文表記のものも多くありましたので、外国の入場者の方がたにも、「日本の郷土料理」の事を知らせ、再認識していただけたのではないかと思っています。



授賞者の喜びのコメント



A部門 二科デザインポスター大賞
山崎 誠

このたびは部門の最高位である、大賞を頂きありがとうございました。事情があつてしばらくは作品制作から離れていましたが、もともと物作りが好きな私は、なんとも空虚な日々でした。そんな折、デザイン部会員の方からの助言もあり数年前から新たに作品制作を再開しました。そして、今回の大賞を頂ける事になり大変嬉しく思います。これを機にまた頑張って行こうと思思いますので、これからもご指導のほど宜しくお願ひ致します。



B部門 特別テーマ部門 農林水産大臣賞
二越 としみ

「今日のご飯は何かな?」「何を作ろうかな?」
そんな日常のひとときにふとよみがえる、心の奥にある
“美味しい記憶”。
その記憶をやさしく、どこか懐かしく思い出していただけ
るような光景を思い描きながら制作しました。
このたびは栄えある賞をいただき、大変光栄であり、心
より嬉しく思っております。
日本の郷土料理が、皆さまの今日の食卓に並ぶきっかけ
となれば幸いです。



授賞者の喜びのコメント



C 部門 二科デザイン・イラスト大賞
森松 宏哉

この度はデザイン大賞という名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

5年前からスタジオアライヴで鉛筆画を学んでおり、今回の受賞は教室の皆さんのおかげだと深く感謝しております。

本作品は、自分の当時の心情を表現したいという想いで、試行錯誤しながら細部までこだわり作成しました。
今後も引き続き、自分らしい作品づくりに励んでまいります。



D 部門 二科デザイン・フリースタイル大賞
ソメ吉

この度は歴史ある二科展において大賞を受賞することができ大変嬉しく思っております。私は絵を描くシンガーソングライターソメ吉として活動しております。自身歌で助けられたという経験があり、歌詞にはこだわっております。そして絵にも人の心を動かす力があると思います。例えば大変なことがあり、何日も同じことを考えてしまって辛い方が、私の絵を見て一瞬でも忘れられる、そういう絵を描いていきたいです。



第109回
二科展デザイン部受賞者名簿

A
部門

★二科デザイン・ポスター大賞
山崎 誠 [東京]
★特選賞
二越 としみ [大阪] 村川 未来 [福岡] 桑野 哲夫 [大阪府]
★奨励賞
今井 泰之 [福岡] 宜野座 明 [大阪] 潤澤 謙司 [東京] 成瀬 茜鳳 [大阪]

B
部門

★特別テーマ・農林水産大臣賞
二越 としみ [大阪]
★特選賞
平野 杏奈 [佐賀] 原 さくら [香川] 山田 彩寧 [香川]
★奨励賞
江副 愛海 [佐賀] 中井 智子 [愛知] 堀口 愛衣 [香川] 鈴木 友美 [香川]

C
部門

★二科デザイン・イラスト大賞
森松 宏哉 [福岡]
★特選賞
酒井 翠子 [神奈川] 粟飯原 稜 [徳島] 大賀 翔太 [福岡]
★奨励賞
河野 一郎 [東京] 望月 尚 [静岡] 崎山 里美 [和歌山] 児玉 尊子 [広島]

D
部門

★二科デザイン・フリースタイル大賞
ソメ吉 [広島]
★特選賞
花谷 江津子 [大阪] 築山 観之介 [山形] 樹 琥珀 [和歌山]
★奨励賞
韓 曜亭 [福岡] 潤澤 謙司 [東京] 崎山 里美 [和歌山] ながやま てつ [東京]

会員賞

会員努力賞

A部門

宇田川 美紀 [埼玉] 奥野 美樹 [大阪]
下口 智弘 [京都] 渡辺 亘章 [東京]
河地 知木 [東京]

B部門

笠原 馨 [大阪]
久保 俊介 [山口]

C部門

田川 幸義 [広島]
小笠原 京子 [秋田]
小島 信行 [広島]

新会員
推举
(3名)

長谷川 広典 [東京]
小出 富子 [京都]
園 こうじろう [福岡]

会友賞

A部門

長谷川 広典 [東京]
米森 賢志 [鹿児島]

B部門

園 こうじろう [福岡]
瀬湯浅 亮子 [福岡]
久郷 真理子 [山口]

C部門

D部門

なし

新会友
推举
(4名)

品川 謙吾 [愛媛]
花谷 江津子 [大阪]
崎山 里美 [和歌山]
粟飯原 稜 [徳島]



第109回展審査会雑感

二科会デザイン部 副理事長 田野 勝

第 66 回展の会員推挙から今年で 109 回展を迎える、なんと 43 回も審査会に参加したことになる。その間、審査の在り方についてはかなり糺余曲折があつて現在に至っている。

およそ 20 年ほど前、出品者が一心に情熱を注いだ多数の作品で審査会場は熱気に満ちていた。一人 3 点出品が普通で、中には 6 ~ 7 点出品する人も珍しくはなく、それらを審査する側も活気に溢れ、多くの作品を前に侃々諤々。作品を凝視し、感情を高ぶらせ、緊張感がみなぎり、時には怒号が飛び交うような審査光景は今では到底考えられないのは何故か。言ってしまえば、技術面を追うあまりに表面処理に重点が置かれ、メッセージ性の有る作品が少ない。作品自体インパクトに欠けるのもそれが一つの要因になっていると思われる。過去デザイナー達が頭をひねって創意工夫して人に訴求するという活動そのもの自体が、人々の生活やメディアの環境変化により、グラフィックデザインというカテゴリー自体が様変わりして行く不可避な現象が加速している。また別次元だが、AI による個人の持つ能力以上の作品が表現出来るようになった。このことは個人が持つ能力を超えたイメージはもちろん、偶然が偶然を呼び自身のイメージとは異なるような作品をプリントアウトすることも可能になった。つまり入力次第で思いもよらぬ作品が出品でき、審査をあおぐことは果たして如何なものか。新たな問題点として熟慮しなければならない。二科会デザイン部としての見解は今のところまだ出していないが、社会的な現象として美術界にも大きな影響が出て来ると思われる。

さて第 109 回展に於いて、例年通りに力作が出品されたが、中で眼を引いたのが、D 部門フリースタイル大賞のソメ吉さんの作品は、ユーモラスで同じ表情と決してスマートとは言えない体型のキャラクターの動作が実像を連想させて、思わず審査員の笑いを誘った肩の力を抜いた軽妙な作品だったのが印象的であった。

第109回二科会デザイン部 ギャラリートーク

審査会部長 吉田 隆至

ギャラリートークを終えて

9月6日（土）授賞式終了後、3時より展示会場に於いて、受賞者を中心に制作意図や制作時間等を聴きながら講評会をスタート。ギャラリーは30数名。

A部門では、ポスター大賞受賞された山崎さんに制作意図を聞いた。3Dの技術を駆使して、一晩で咲いて散るはかない「月下美人」の花のイメージと女性を重ねた作品は神秘的な空間を表現していて好感が持てました。特選の二越さんの作品は、墨線で描かれたイラストの構図とシックで落ち着いた配色は彼女独特の雰囲気を醸し出していて良く、3年連続の受賞。同じく特選の村川さんの作品は、アイデア出しに約2ヶ月、仕上げに1ヶ月を費やしたとの事。黒地にカットアウトされた金地に女性と花で構成されていてシンプルだが力強い。特選の桑野さんの大胆なコラージュで構成された手描き作品も良かった。奨励の今井さんの作品は、表情の違う猫の大小を手書きで細密に描かれていて、構成も良く一見モノクロのように見えるが目や鼻に彩色されていて良い。奨励の宜野座さんの作品は、写真をカラー変換して迫力のあるポスターに仕上げていて2年連続の受賞。奨励の成瀬さんの作品も半立体のモチーフで迫力があった。

D部門では、フリースタイル大賞のソメ吉さんの作品。体操をする少女のキャラクターはノスタルジックで何故かユーモアが有り、大半の審査員の心をくすぐった。特選の花谷さんの切り絵の作品はアメリカンポップで新鮮であった。他の特選に築山さんの手書きの虎とライオンは迫力のある手描き、樹さんの立体イラストは緻密で迫力があった。

C部門では、イラスト大賞の森松さんの作品は白黒で凄い迫力。熟練作家と思いきや20代の若手と知り驚いた。制作時間は約1年との事。もう来年の作品に取り掛かっているとかで会場から拍手が湧いた。特選の酒井さんは初出品の学生さんで擬人化した猫の仕草が何ともユニークで微笑ましい。同じく特選の栗飯原さんの作品は、独自のキャラクターの世界を表現していて、後景をボカすことにより奥行きの立体感を出しているのも良かった。

B部門では、農林大臣賞の二越さんの作品は、郷土料理が産まれる前の情景を想定した構成アイデアはユニークで一味違っていて好感が持てた。特選の平野さんの作品は木目込みの手法で郷土料理を表現していて色調のバランスも良かった。他の受賞作品を含め入選作品は高校生や専門学生の作家が多数を締めたのは次年度に向けて明るい材料でもあった。このギャラリートークを通してデザイン部への更なる出品をお願いしてトークを終了しました。感謝。



第109回 二科展 全国巡回スケジュール

●本展覧会 会 場／国立新美術館
会 期／令和7年9月3日より9月15日まで
展示点数／291点（デザイン部作品）

●全国巡回展スケジュール

大阪展	2025年10月29日～11月9日	大阪市立美術館	田野 06-4950-4130
京都展	2025年11月25日～11月30日	京都市京セラ美術館	下口 080-8511-7631
東海展	2025年12月17日～12月21日	愛知県美術館ギャラリー	岩田 052-264-4636
鹿児島展	2026年1月11日～1月18日	鹿児島県歴史・美術センター黎明館	延時 099-228-0093
福岡展	2026年1月27日～2月1日	福岡市美術館	小路 0952-29-2636

チャリティー作品協力会員

河地 知木 横木 憲幸 河野 朱実 俵川 智行
岩田 明 古河原二葉
吉田 隆至 松本 泰明 松河 哲男

ご協力ありがとうございました。

各地区事務局・各支部事務所

●二科会デザイン本部事務局

〒840-0032 佐賀県佐賀市末広 2 丁目 11-10

☎ 080-3370-8018 E-mail info@nika-design.net

●東北・北海道地区事務局

〒010-0917 秋田市泉中央 4-22-11

☎ 018-823-2805 (小笠原 京子)

●関東地区事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-4-8-502

☎ 080-5199-2003 (渡辺 亘章)

●中部地区事務局

〒462-0844 愛知県名古屋市北区清水 2 丁目 6-11・602 クリエイティブハウスグロウ ☎ 052-325-8233 (岩田 明)

・東海支部 〒498-0021 愛知県弥富市鯉浦町上巳 343 ☎ 090-6587-9824 FAX 0567-67-1988 (佐藤 達美)

●北陸地区事務局

〒933-0942 富山県高岡市市川原町 13-45

☎ 090-9767-6526 (東 俊介)

●関西地区事務局

〒660-0083 兵庫県尼崎市道意町 1-49 (有) パン・クリエイティブスタジオ ☎ 080-1452-5460 FAX 06-4950-4131 (田野 勝) KYY0162@nifty.com

・大阪支部 〒633-0076 奈良県桜井市大泉 442 ☎ 090-9058-9455 FAX 0744-45-3848 (吉田 隆至)

・京都支部 〒601-1331 京都府京都市伏見区醍醐南端山町 15-47 ☎ 075-632-8187 (下口 智弘)

●中国地区事務局

〒739-1201 広島県安芸高田市向原町坂 240-12

☎ 090-2800-8603 (田川 幸義)

・山口支部 〒745-0801 山口県周南市久米 3131-10

☎ 090-7894-8354 (久保 俊介)

●四国地区事務局

〒799-0405 愛媛県四国中央市三島中央 5 丁目 8-56 株式会社 NAD 内

☎ 0896-74-8305 (続木 満豊) E-mail nika.shikoku@gmail.com

・香川支部 〒762-0025 香川県坂出市川津町 4068-1 ☎ 0877-45-9734 FAX 0877-56-2408 (出淵 光一)

・徳島支部 〒779-3112 徳島県徳島市国府町芝原寺地 23 ☎ 088-642-3153 FAX 088-642-3153 (坂野 美恵子)

・高知支部 〒780-0981 高知県高知市一ツ橋町 1-135 ☎ 080-5669-0665 (坂本 阿綺子)

●九州地区事務局

〒840-0032 佐賀県佐賀市末広 2-11-10 Design Studio SHOW 内 ☎ 0952-29-2636 FAX 0952-29-2675 (小路 久男) show@ori.bbiq.jp

・福岡支部 〒827-0003 福岡県田川郡川崎町大字川崎 2590 ☎ 0947-72-5522 FAX 0947-72-3757 (佐土嶋 文香) ayakas1@mac.com

・佐賀支部 〒840-0806 佐賀県佐賀市神園 5-11-9 ☎ 0952-30-5572 (川原 幸治) jiuko@star.saganet.ne.jp

・大分支部 〒879-1506 大分県速見郡日出町 555-45 ☎ 0977-72-8789 FAX 0977-73-0873 (宇野 美保子)

・熊本支部 〒860-0846 熊本県熊本市中央区城東町 4-7 グランガーデン熊本 1015号 ☎ 080-5211-5838 (石倉 舞り) mari_design_@me.com

・鹿児島支部 〒891-1204 鹿児島県鹿児島市花野光ヶ丘 2-39-7 ☎ 099-228-0093 FAX 099-228-0093 (延時 秀一) thyme@ymt.bbiq.jp